

【格付け維持】 西日本高速道路

第1回社債（一般担保付、日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）

第2回社債（一般担保付、日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）

格付け：AAA

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け維持の理由】

西日本高速道路が道路建設資金調達を目的に発行する社債（一般担保付）に対する長期個別債務格付け。当該社債は、建設期間中は同社の負債だが、調達した資金で建設された高速道路資産が日本高速道路保有・債務返済機構(機構)に帰属すると、資産とともに機構に引き継がれる。機構へ債務を引き渡すスキームが確実なうえ、災害の発生や、関連事業等の不振で同社自体の経営に問題が生じるなどにより、道路建設に支障を来たしても道路建設債務は機構（間接的には国）によって保護される可能性が極めて高い。このため、当該社債の元利払いの確実性は引き渡し前であっても機構の信用力（発行体格付け＝AAA）に帰着すると判断し、機構と同じ格付けにしている。なお、道路特定財源は機構の信用力を支える一つの要素として考えており、暫定税率の見直しなど道路特定財源の見直しが続いている点はチェックポイントである。国会での審議の状況等を見守っていく。

西日本高速道路は道路関係4公団民営化で発足した高速道路会社6社中の1社で、機構と結んだ協定に基づき、主に関西、中国、四国、九州地方で高速道路の新設、改築、維持、修繕などを手掛けている。関連事業はSA・PA事業（サービスエリア、パーキングエリアの運営事業）など、高速道路周辺で展開し収入が安定して入る事業が主体で、その資産規模が全体に占める割合は小さく、今のところリスクは限定的である。

2008年度予算原案で関西国際空港が保有する対岸との連絡橋の道路部分の売却方針が打ち出されたが、売却後の管理は道路の接続状況などから見て、西日本高速道路に委託される可能性が高い。その場合でも、機構が高速道路建設にかかるすべての債務を発足後45年で返済するというスキームに変更はなく、同社が発行する社債の信用力に大きな影響はないと考えているが、交通量、通行料金、貸付料の設定状況を慎重に見守っていく。

【格付け対象】

発行者：西日本高速道路

名称	発行総額 (百万円)	発行日	償還日	格付け
第1回社債（一般担保付、日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）	20,000	2007年3月20日	2009年12月18日	AAA（維持）
第2回社債（一般担保付、日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）	25,000	2007年10月16日	2010年9月17日	AAA（維持）